

ていけつわしんじょうやく
締結和親条約（峰 章山）

祝砲百発響海湾 横浜村涯船団姦
全権幕閣乗浪到 米兵之又接岸攀
双者五百各徐列 両陣相慮汀沙間

しゆくほう ひゃつぱつ
祝砲 百発
かいわん
海湾に 轟き

解説 日本とアメリカ合衆国が締結した条約を詠った詩。

よこはまむら
横浜村の 涯り 船団 姦し

語釈 ※締結||条約や契約をとりむすぶこと。

※和親条約||国家同士が和親を結ぶために取り交わす条約。

※祝砲||祝意を表わすために放つ空砲。礼砲。

※横浜村||横浜市になる前の幕末以前の村の名称。

※船団||同じ目的をもって行動する船の集団 ※姦||やかましい。※

幕閣||幕府の官僚※慮||周囲の状況や心情について深く考える。※汀

沙||みずぎわの砂地のところ。砂浜。

ぜんけん
全権の 幕閣 浪に 乗じて 到れば

べいへい
米兵 之も 又 岸に 接して 拳ず

そうしや
双者 五百 各 徐に 列し

通釈 日米和親条約が締結され、祝砲が百発海湾に轟いた。

横浜村の辺は黒船船団が停泊し、やかましい限りである。

全権を任された幕府の官僚と米兵が徐に列を成し、両陣営は砂浜で

慮った。

りょうじん
両陣 相 慮る 汀沙の 間